

会議録

会議の名称	西東京市立学校給食運営審議会（第5回）
開催日時	平成29年1月23日（月）午後2時30分から午後3時42分
開催場所	保谷小学校1階 学習ルーム
出席者	（委員）中村副会長・松村委員・小林委員・田中委員・佐藤委員・横張委員・新出委員・中林委員・金木委員・後藤委員・山崎委員・小島委員・川添委員・横田委員・石川委員 （欠席）有澤会長 （事務局）等々力学校運営課長・近藤・石部
議題	1 中学校給食について 2 その他
会議資料の名称	1 学校施設建物について
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>出席委員15名、委員数16名で過半数に達しているため、本審議会の成立を確認。 前回会議録は、事前配付の資料に訂正の意見がなかったため、配付物のおりとする ことの確認。</p> <p>議題1 中学校給食について</p> <p>○副会長 本日は、会長に代わって会議の進行を務めるので、協力してほしい。 前回、有澤会長が確認したとおりに、新しい給食室に求められる「ドライシステム」とはどのようなものか、及び学校の校舎の建替えの方法に関しての予備知識の2点を中心に理解を深めたい。 いずれも、答申文を調製する際の基礎知識となるものと考え、説明の後に質疑応答を行うという審議方法で、会議を進行したい。 最初に、新出委員により、給食室の衛生管理に伴う「ドライシステム」について、の説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">（新出委員説明） *説明の要旨 I 別添</p> <p>○副会長 説明は終わった。質問のある方の発言を受けたい。</p> <p>○委員 ドライシステムのメリット・デメリットもあるということだが、西東京市では、これまで調理場の広さや調理員の人員の関係でウエットシステムを採用していたのか。</p> <p>○事務局 過去に学校を建設したときには、ドライシステムという考え方はなかったということだと思う。ウエットというシステムがある訳ではなく、過去に設置された調理場は、皆そうした設えであり、それが、衛生管理をしやすくするためにドライシステム仕様の器具と調理の流れが考案されたということが、先ほどの説明であり、対比の都合でウエットという言葉は出てきたが、ウエットシステムを選択して導入した訳ではない。</p>	

- 委員 平成8年の事故を契機にして考えられたシステムであり、ドライシステムの調理場は、それ以降に学校の新設のあった市では検討をしたものと考えてるが、そもそもドライシステムという概念はなかったと考える。
- 委員 西東京市では、けやき小のみがドライシステムを導入している。
- 委員 全国的にみても、まだそれほど多くの学校が導入できているものではない。
- 副会長 他に意見はないか。質疑を終結する。
新出委員の説明に感謝したい。答申文の調製時に疑問等が生じた場合には、助言等をお願いしたい。
続いて、学校運営課施設系の職員から「学校施設建物について」の説明を受けたい。

(施設系の説明)
*説明の要旨Ⅱ別添

- 副会長 説明は終わった。質問のある方の発言を受けたい。
- 委員 説明によれば、調理室が広くなければドライシステムの導入は難しいということなのか。
- 施設係 概算値ということで理解してほしいが、仮に600食程度を作る学校であった場合、ウエットでは1食当たり0.24平米で換算すると約150平米の面積が必要とされ、これに対し、ドライシステムでは約240平米の面積となり、ドライはより多くの面積が必要と言われている。
- 課長 一般的に、1.5～2倍の広さが必要になるという説明を関係業者等からも受けている。
- 委員 現状の給食室をドライ化するとされているドライ運用とはこういったものなのか。
- 事務局 ドライシステムとウエットの中間に位置するもので、例えば、厨房のシンクの淵にかえしをつけて、水を張った状態でも外にこぼれださないような仕組みの機材に交換したり、床を改修したりして、少しでもドライシステムに近づけるための方法だ。ただし、あくまで厨房機器交換のレベルであり、新出委員からの説明にあった部屋を作業ごとに区分するドライシステムへの改修は、ただ今話題になったように、面積や給排水設備等の関係でできないので、安全を確保するための1つの段階ということで理解してほしい。
西東京市では、親子給食をスタートする際、及び単独調理校も別途工事を行い、ドライ運用化を済ませている。
- 副会長 栄養士としての工夫等はあるか。
- 委員 親子校での改修に引き続き、単独調理の学校でも順次ドライ運用化工事を行っており、床の改修や流し台やざる受け台等々をドライ仕様の器具に交換して、水が床に零れ落ちないように変わってきている。回転釜は、釜の底から溜めた水分を放出できるものに順次交換している。
- 副会長 教育委員会としては、許された予算の範囲の中で改修に努め、調理側は、衛生的に業務が進行できるように工夫をし、皆で努力しているということが理解できたと思う。
ほかに質問等はあるか。

(特になし)

- 副会長 質疑を終結する。
本日受けた説明、或いは質疑の中で明らかになった事項を含めて、実際に答申文を作成・調製する際には参考にしなければならない点を確認できたと思う。
改めて、本日の説明に対して、お礼申し上げたい。

議題1、中学校給食について、を終わりにする。

議題2 その他

○副会長 この際、ご発言や報告等はあるか。

(特に意見等なし)

次回の日程等について、事務局から説明を受ける。

○事務局 次回は、2月17日の14時30分からで、田無小学校において行なう予定。
別途通知する。

○副会長 日程の確保に関して、引き続きお願いする。

閉会

○副会長 本日の会議を散会する。